

NEWS RELEASE

デジタル通貨サービスを共同開発
株式会社フィノバレーへの出資のお知らせ

三菱電機株式会社は、デジタル地域通貨事業をリードするフィンテックベンチャー企業、株式会社フィノバレー（以下、フィノバレー社）に出資し、株式6.2%を取得しますので、お知らせします。当社はスマートシティ関連の新サービスとして、デジタル通貨を活用した価値の見える化・授受する仕組みの創出を目指しており、その中核テクノロジーを保有し、地方創生に関する取り組みに強みを持つフィノバレー社に出資するものです。今後、フィノバレー社のデジタル地域通貨基盤と当社の先端技術を組み合わせ、地域活性化やカーボンニュートラルなどに寄与するデジタル通貨サービスを共同開発することで、都市や地域が抱える諸課題の解決を目指します。

フィノバレー社の概要

社名	株式会社フィノバレー
代表者	代表取締役社長 川田修平
所在地	東京都港区麻布台 1-11-9
資本金	7,500 万円
設立	2018年6月15日
従業員数	12名(2022年1月28日時点)
事業内容	デジタル地域通貨基盤の提供
大株主および出資比率 (出資後)	株式会社アイリッジ 86.4%、三菱電機株式会社 6.2%
ホームページ	https://finnvalley.jp/

出資の狙い

近年、世界各地では、人口減少、担い手不足、財政的制約など、都市や地域が抱える諸課題を、IoTやAIなどの新たな技術を活用して解決するスマートシティに関する取り組みが進められています。

当社は、スマートシティのデータ連携基盤を介したサービス提供における決済のデジタル化に着目し、当社ソリューションとデジタル地域通貨アプリケーションを組み合わせた新たなサービスの創出（監視カメラで解析した混雑状況に応じてデジタル通貨を付与することで混雑緩和につなげたり、エネルギーマネジメントシステムと地域通貨基盤の連携により CO₂ 排出権をデジタル通貨へ還元することなど）を検討しています。

今回、岐阜県飛騨高山地域の「さるぼぼコイン」や千葉県木更津市の「アクアコイン」などのデジタル地域通貨を手掛けるフィノバレー社に出資することで、当社の強みであるハードウェアやシステム開発技術とフィノバレー社の技術・ノウハウを掛け合わせて、スマートシティ関連の新たなサービスの創出を目指します。

今後の展開

今後、自治体向けの新たなデジタル通貨サービスの共同開発をはじめ、当社のデータ連携基盤とフィノバレー社のデジタル地域通貨基盤を連携させたシステムの構築や、デジタル地域通貨を用いた顔認証決済システムの実証実験を2022年度中に行う予定です。

当社は、長年積み重ねてきた技術・ノウハウと他社の技術・ノウハウを掛け合わせ、社会課題の解決に貢献して参ります。

お客様からのお問い合わせ先

三菱電機株式会社 ビジネスイノベーション本部 ビジネスイノベーション・DX 戦略室
〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号 TEL 03-3218-4885
Email : big.contact@pz.MitsubishiElectric.co.jp

報道関係からの
お問い合わせ先

〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号 TEL 03-3218-2359 FAX 03-3218-2431
三菱電機株式会社 広報部